

第46号
 発行日：平成21年10月20日
 発行所：
 東京青山同窓会事務局
 〒107-0062
 港区南青山3-18-4-304
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
 1口 / 1,000円 2口以上(年間)
 会計幹事：佐藤 茂 (77回)
 振込先：三菱東京UFJ銀行・
 江戸川橋支店
 普 1170247 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成21年 東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会 報告

平成21年6月19日(金) 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京 大滝 均 74回

東京青山同窓会2009年新人歓迎会・講演会(117回生を迎えて)は、ANAインターコンチネンタルホテル東京ギャラクシーの間で予定より若干遅れて2009年6月19日18時40分、猪口孝会長の「新潟県人はダメなんだ。教育がなってない。とりわけ新潟高校がダメだ。」という衝撃的な挨拶から始まった。

猪口会長の言葉によれば、新潟県は産業の発達を目指した教育制度がなくなって、積極性のない県民性や適切な政策判断の誤りがあることなど、概ね三つの点でダメなんだそうだ。「米百俵」などその典型で米百俵を藩校設立に使ったのは良いが、その後が続かず、また、「直江兼次」なども、新潟にいたときは、正しい政治判断をしたが、米沢に移ってからは、ことごとく判断を誤り、弱小藩に陥ってしまったのだそうである。これからの新潟は、教育制度を充実させ、とりわけ新潟高校並びにその卒業生に頑張ってもらわねばならないということのようであり、新人に対しても大変な激励となった。県立大学の学長ならではの経験が思わぬところでほとぼり出た、そんな感じの会長挨拶だった。

続いて、今回の司会74期工藤義夫氏の紹介は、新潟からお出かけいただいた青山同窓会富山幹事長、「青山同窓会旗」の贈呈と新人への挨拶があった。東京青山に何か贈りたく、会旗を思いつき漸く実現したということであった。新潟高校の87期の押木洋校内幹事から、最近の校内事情報告があり、今年も青陵祭で盛り上がったこと、「昨年の青陵祭は地震に見まわれ、今年は雨・雷に見まわれ、来年はおそらく〇〇に注意」とのことであった。

続いて、本日の講演会、スピーカーの75期の篠田新潟市長から(「行ってみたいまち新潟」へー大観光交流年と「水と土の芸術祭」-)という演題で講演が行われた。新潟市は、最近、近隣15市町村による大合併があり、近隣あげての「まちおこし」熱がわき起こっているようである。かつての新潟は、「行って見たら、意外と良い町だった」程度の思いしかないものを「是非行ってみたいまち」への転換を目指すということで、幸い新潟市は自然に恵まれ、「水」と「土」には、近隣どこの地域にも負けない自負があり、これを礎に多くの観光客を導き、活性化しようということのようである。こ

のため各種芸術家の作品をあちらこちらに点在させ、観光客に訪れて貰う誘致の種としようというものらしい。見慣れた田園風景や町中の風景に、設置想定写真が映し出されたが、果たして、こんなものを見に観光客が行くだろうか、そして地元の人もわざわざ足を運ぶだろうか、空回りにならないことを祈るばかりである。もし、私をして「行ってみたい」と思わせるのであれば、目指すところは、「新鮮な魚・野菜」を使った「旨いもの」である。東京に住んで一番良かった点は、旨いレストランがあって、旨いものが食えることである。この料理の腕に新潟の新鮮な材料が合わせられれば、旨いものに目がない人は挙って行くのでは、そんなふうに思ったりもした。

いきなり小生の携帯メール音が鳴った。慌てて携帯電話のスイッチ・オフ。同期の佐藤信秋参議院議員からだ。この会に出席していたのだけれど、別の打ち合わせ用件で急遽言葉もかけずに帰るとの詫びメールであった。「市長や前・新会長他皆さまによろしく」とのことであった。

続いて第2部懇親会へとすすみ、83期佐野栄二氏の司会で71期太田裕副会長のご発声により乾杯、会食懇談に移った。総勢100人を越えるメンバーが互いにビールを注ぎつ注がれつ、別のテーブルへも…。しかし、当方も思いの外ビールが廻り、佐藤議員に替わっての市長や新旧会長への挨拶はすっかり忘れてしまっていた。気づいたときは、もうお開きタイム、小用を足し、席に戻ったときには、「校歌」「ますらお」斉唱が始まっていた。例によって二次会も案内されていたが、明日の用事で一次会のみで終わり。心残りながらも帰路についた。またの再会を期して…。



会長挨拶

猪口 孝 70回



東京青山同窓会は皆様を歓迎します。今年テレビの兼継のドラマ(天地人)で新潟について再考する機会が多々ありました。16世紀位からの新潟の歴史を皆様と一緒に考えたいと思います。

16世紀から17世紀の新潟はどのような地理的・経済的・人口学的な状況に置かれていたのか。

第一、信濃川と阿賀野川に沿った農耕地から見ることがまず気になる。上流から中流にかけて農耕地であったのがこの時期の特徴です。面積的に小さめ、しかし

洪水とくに過度に悩まされず、病気にもあまりかかりにくい流れの速さがあったことが重要です。17世紀から18世紀になると、下流地域にも農耕地が拡大していったことが徳川時代に新潟にとって決定的に重要です。第二、以前からあった佐渡金山が徳川時代にはさらに栄えたことです。資源産出国だったのです。それだけ裕福だったのです。第三、新潟湊が徳川時代にはさらに栄えていったのです。北前船の重要な寄港地として格段に栄えたのです。とにかく交易の繁盛によって新潟は一時的にでも商人共和国のような一面をもつようになったことは火坂雅志氏の描くところなのです。

ところが三重の富創造の方式はあつという間に大きく変わってしまいます。まず新潟湊と佐渡金山は徳川幕府の直轄地に変わります。いいかえると、徳川時代の新潟の発展は駆動力が残った米生産に大きく依存することになったのです。米生産面

積が爆発的に増大したために、人口も大変な増加を見ることになりました。ところがコメの労働生産性は日露戦争期に絶頂に達します。その後は静かに減少していきま。農業の生産関係にも無理が大きくなり、小作争議なども20世紀前半には頻発しました。第二次世界大戦後も米生産に大きく依存していますが、農業従事者が極端に高齢化、希少化していることが新潟の発展に大きなブレーキとなります。

新しい生産流通消費の仕組みをつくるのが緊急に必要です。どうしてかという、徳川中期から日露戦争までは日本で最富裕県であったのに、あるいはあつたがために、他の産業にあまり目を向けなかったのです。1890年帝国議会第一回衆議院議員総選挙で有権者が最大だったのは新潟県でした。東京府ではありません。新潟が一番金持ちの多かった(つまり税金をよく支払った)県だったのです。

少し意外の方もおられるかもしれませんが新潟の振興を本気に取り組む必要を県民全体が認識して頂けたらと切に思います。

第32回 東京青山61期同期会

G組幹事 藤田太郎

第32回東京青山61期同期会が、恩師大橋禎助先生をお迎えして2009年(平成21年)6月5日(金)午後5時から浜松町駅近くのホテル「アジュール竹芝」で開かれた。参加者は44名。

この会は昭和28年新潟高校61期卒業生(322名・A組・G組の7クラス)の同期会である。昭和53年に、当時、東京在住の有志で開かれたのが最初であり、現在、幹事は持ち回り、毎年6月、都内の集まりやすい場所を選んで開催してきた。今年G組が担当である。

当日は小雨が時折ばらつく曇り空であ

つたが、定刻に開催。まず60名を越す物故者のご冥福を祈り、全員で校歌を斉唱。大橋先生のご祝辞を戴き、懇親に入った。大半が75歳を迎えており、さすがに酒量は減ったものの、お互い苦楽を共にした旧知の間柄。懐かしい新潟弁が飛び交い、心行くまで歓談が続いた。佳境に入ったところで、記念写真を撮り、全員で輪になり肩を組み合わせ、応援歌を声高らかに謳いあげた。最後に来年の再会を約し、名残を惜しみながら散会したのである。

もともとこの会は新潟在住の仲間との

連携も強く、5年毎に新潟に集まっては交流を深めており、2008年(平成20年)は湯田上温泉に集まって懇親を深め、ゴルフを楽しんだ。

ところで、75歳にもなると、まだまだ元気な者も大勢いるが、残念ながら、すでに60余名の同僚が亡くなり、また病気を抱えている仲間も多く、参加者は年々減少傾向に入ってきた。このような現状をふまえて、お互い元気うちにといいことで、喜寿を迎える2年後の2011年(平成23年)に、新潟、東京の合同大会を開こうという話も出てきている。

正直、先のことは判らないが、この同期会が規模の大小にかかわらず、少しでも永く続くことを心から祈るものである。2009年(平成21年)6月30日



64回生東京同期会

東京同期会事務局 川崎明・坂井敬

お互い年なんだから何年に一度なんて言わないで毎年集まろうやという話から平成15年より毎年開催(平成18年は卒業50周年記念大会を新潟で開催して頂いた)し、今年は早くも7年目となりま

した。
場所は恒例新宿の東京厚生年金会館で、5月16日(土)。今年はハワイから宮沢桂さんが参加され、直前に演劇部のOB会が同じ会館内で行われたためOB会から同期会へ後輩の方も含めて出席、さらに新潟や浜松からも参加いただいたため久しぶりに51名というにぎやかな会合となりました。昨年から始めた

1人1分間スピーチで全員がお互いを確認し合い乍らあちこちで歓談の花が咲きアツという間の3時間でした。この盛り上がった会の風景を諸橋晃さんがフォトアルバムに編集してくれましたので出席者だけでなく今回あいにく欠席でお返事頂いた皆さんにもお送りしました。
来年の再会を楽しみにしたいと思います。



懐かしい顔が勢揃い

卒業40周年・77同期会に参加して 77回 佐藤 茂

「さてこの度、私たち昭和43年度卒業生が卒業40年を迎えるに際し、久しぶりに一堂に会して互いに元気な顔を見、その後の様子を語り合う会を、催すことといたしました。」との呼びかけに、勇んで新潟に行ってきました。

6月13日(土)新潟駅に着いたら、そのまま母校のグラウンドに直行です。あの懐かしい「青陵祭」の真っ最中でした。今も昔も変わらず、多くの来賓・観客でグラウンドの回りは、なかなか入り込めませんでした。

私は、サッカー部の後輩たちとの交流戦に参加の為、時々母校には行っていましたが、「青陵祭」は卒業後初めてです。この日は時折小雨がパラつき、肌寒い中を、後輩たちは元気に「連合」アピールを展開していました。連れて行った家内

は「大きな学校ですね。校舎の新しさと、グラウンドの大きさに圧倒されました。」と、感想を述べていました。

午後5時から、イタリア軒を会場に、遠くは九州からも駆けつけ、総勢65名が出席して「77同期会」が盛大に開催されました。最初に、先立たれた同期15名に慎んで黙祷を捧げて、式次第に入りました。しかし、校歌「百里流れて～」と歌い出しても、なかなか音量は上がりません。30周年記念の集いも行ったらしいのですが、40年の歳月はやはり、隔たりが大きく、大半が卒業以来の再会です。なかなか調子が上がりません。顔は思い出しても名前が出てこない。出席名簿で確認した名前と顔が重なり合わないなど、幾重にも重なる障害を乗り越えて、はじめはぎこちなかった互いの挨拶

も、実行委員会の北村君が苦勞をして準備をした懐かしいスライドが始まると、アルコールのすすみ具合と相まって、あちこちで再会を祝う乾杯と歓声で、会話もなめらかになって行きます。在校当時の先生方も、4名がお元気に参加され、ご挨拶。少々長いお話が、昔を思い出させます。最後の「ますらお」の合唱の頃には、皆往年の大声を張り上げて元気一杯に歌い上げ、次回での再会を楽しみに散会しました。

実行委員会の予定した2時間では、不足した多くのメンバーが、同じイタリア軒の12階にセッティングされた2次会になれ込んだようです。

私達サッカー部OBは、千葉から参加した小島君と、私と、新潟の2名の計4名で、いつものコースで、深夜まで新潟の夜をさまよって歩いたのでした。

幹事小林君他、実行委員会の皆さんのご苦勞に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



2009年春の玲瓏会報告

遠藤 治一 64回

第10回を数える東京青山玲瓏会は、好天の下、16人の参加を得て、和やかに楽しく行われました。

結果は、ご覧のように、68期の諸兄が若さにまかせて圧倒的な強さを示して、他の期は顔色なしでした。

今回は、何とか68期旋風を一蹴する期が出るをこ期待しましょう。



◆日時：5月15日(金) ◆場所：総成カントリークラブ
◆成績：優勝/68期村山隆男さん、準優勝/68期木伏靖幸さん、
三位/68期渡辺公夫さん、BB/64期高橋正幸さん

98回生の皆さんへ

三沢 計治 98回

東京青山同窓会の皆様、初めまして。98回卒の三沢計治と申します。理化学研究所でスーパーコンピュータを使ってヒトの遺伝的解析研究を行っています。

学年の同窓会について書かせていただきたいと思います。僕らの学年は、ここ数年、新潟在住の敦井一友君と荒木武君を中心に再び結束を高めています。

今のところ全体のおよそ5分の1に当たる100人ほどが加盟するメーリングリストが運営され、日本全国の同窓生と連絡を取り合っています。今年の夏には、渡辺敏之君が開いている新潟市東中通りのレストラン『ティオペペ』で同窓会を開きました。ティオペペはスペイン料理やイタリアンなどの地中海料理の店で、僕も新潟に帰った時は時々利用させてもらっています。

来年は僕らの卒業20周年にあたる年なので、さらに同級生を多く集めたいと思っています。

98回生の皆さん、是非、下記まで連絡をください。お待ちしております。

aoyama98tokyo@gmail.com

寄稿

ジャズと青春の日々

ジョリーチャップス同窓会

中野 治 73回

皆さま、「ジョリーチャップス」という名前をご存じだろうか。これは、昭和20年代に発足し、昭和55年くらいまで存続した新潟高校の軽音楽部の愛称である。

私は、昭和37年に入学と同時にこのクラブに入部し、ジャズ好きの仲間とともに青春の日々を送った一人である。そのジョリーチャップスの40年ぶりの同窓会が、さる7月11日に新潟で開かれた。

集まったのは、昭和38年から42年に卒業したOBの面々で、昭和38年卒でトロンボーンを吹いておられた井田征夫さんの店「喫茶いだ」(新潟市中央区新島通り)に12人が顔を揃えた。

何しろ卒業以来初めて再会するという人も多く、果たしてどのような展開になるのだろうかといささか心配だったのだが、それは全くの杞憂に終わった。乾杯と同時に各自の近況やその後の人生、そして今もそれぞれに続いているジャズや音楽への情熱や取り組みへと話はとどまるところを知らず、皆一瞬にして高校時代の日々に戻ったのは不思議であった。

当日集合した最上級生メンバーは、トランペットの女池、トロンボーンの前田、ドラムスの川上、39年はクラリネットの阿部とドラムスの野村、40年がトランペットの鶴木と中野、クラリネットの品田、ドラムスの井口、41年のサクソフォーンの池とトランペットの

前田、そして42年がトランペットの石川という顔ぶれである。(敬称略)

女池さんは長く教職にあり、小学生たちに熱心に音楽教育をされてきた話をご披露された。音楽がそのまま人生になっているその姿が見事と感じた。あの時代、まだ楽器は極めて高価で、学校のクラブにはまともな楽器は揃っていなかったためもあり、あらためて当時の苦労話に花が咲いた。野村さんの逸話は、父親にドラムのセットを買ってもらうことになり、そのセットが小林デパートのウィンドウに一日陳列されたこと。阿部さんは、昔日の思い出のクラリネットを、「古いプリンターを捨てておいてね」と奥さんに頼んでおいたら、一緒に捨てられてしまっていた話。また、校内の文化祭など発表の場があったが、中央高校

での演奏会ではトイレットペーパーを投げられた話も今は懐かしいエピソードである。

当時は、ディキシーランドスタイルの演奏からビッグバンドスタイルへの過渡期で、池君の時代には頑張って譜面台を揃えた話も思い出である。同じ仲間、ついでにこの間惜しくも亡くなった小崎君もメンバーの一人であったので、彼と一緒にいたらどれほど良かったらうかとの思いも胸をよぎった。後日、当日野村さんが持参した古い録音テープをデジタルデータに変換し、昭和38年の文化祭の実況録音を懐かしく聴いた。

司会の拙くも涙ぐましいギャグに腹を抱えながら、今となっては、その演奏にいくらかでも注文はつけられるが、ひたむきで初々しい自分たちの演奏に心打たれた。

高校生の分際で生意気にもジャズに取り組み、それがその後の人生の大きな力にもなった。そのような活動をおおらかに許容した新潟高校の文化性に感謝しつつ、2次会の古町に向かった。



寄稿 新潟県立野球場ECOスタジアム奮戦記

星野 紹英 84回

今年の夏、甲子園準優勝の文理旋風で沸き返った新潟県野球界。そんな最中の8月16日、オープン間もない新潟県立ECOスタジアムで、幸いにもプレイする機会を得た。

今年7月7日、七夕の夜広島-阪神戦でオープニングしたECOスタジアム。全面人工芝、観客席3万席、全てはプロ野球仕様に作られている新球場は、構想から19年の歳月を経て、その間中越地震で一時は建設が凍結されながらの完成であり、県内野球ファン及び関係者の中では待望久しかったもの。正式名称は命名権の関係もあり「HARD OFF ECOスタジアム新潟」。鳥屋野潟に面するスポーツ公園内に、サッカー場ビッグスワンに隣接して建てられている。

* * * *

新潟県高校OB野球大会は2006年の復活から今年で4年目。参加チームは少し寂しい僅か6チームであったが、今年は準決勝・決勝が新装の県立球場で行われることになっていた。前年同時優勝チームの2校がシードされ、他の4校がECOスタジアムへの切符を賭けて8月13日に鳥屋野球場で1回戦を戦った。メンバーは敵も味方も殆ど20代の中、50を越える私と古希を迎えた大先輩の2人が仲間入り。

私は、この1回戦に向かう新潟への新幹線車中、二つの思いがあった。

一つは、今年の1回戦の相手柏崎高校OBチームについて。私は、20数年前当時PL学園の清原が甲子園で唯一の登板をしたその同じ日に、40年を超える野球人生の中でたった一度だけ硬式野球での勝ち投手になったのだ。それが、このOB野球大会であり、相手は柏崎高校OBチーム。今回は、その柏崎高校OBに勝てばECOスタジアムである。

もう一つは、ここ数年目標にしている「生涯最初で最後のオーバーフェンス」を達成したい、という思い。私は、硬式・軟式通じて未だ「オーバーフェンス」の経験がない。今は専ら草野球で、殆どは河川敷のフェンスのない球場での試合ばかり。フェンスのある球場で行われるこの大会は数少ないチャンス。仮に、仮に、ECOスタジアムで実現したら…、などと本気で考えたりもした。「それには、内角肩口から入ってくるカーブを…」と車中で目をつぶり、何度もイメージトレーニングを繰り返す。

すると、その甲斐あったのか、1回戦初回、2番で先発した私の第一打席三球目、カーブならぬ高めのストレートをバット一閃振り抜くと、打球はグングン伸びてレフト後方へ、「まさか…。」一塁に走りながら確か

めるとフェンス手前で1バウンド。「んな、訳ないよね、やっぱり」。しかし、後続の打者の活躍で先制のホームを踏む。試合は私が引込んだ後、6回表で3-7の劣勢から、最後7回裏には劇的な逆転サヨナラでECOスタジアム進出を決める。この試合では、6月の東京青山同窓会新人歓迎会で顔見知りになった今年卒業の左腕宗村君が4回途中から登板して、以後投げ切り勝利に貢献。

そして迎えた8月16日のECOスタジアム、準決勝の試合開始は午前9時。7時半に球場入りして、球場をじっくり観察しながらウォームアップ開始する。

まず、ベンチの広さと開放感に心が止まる。ベンチと裏通路との間に仕切りのドアがないのだ。それに、ベンチが実に広々として狭苦しさなど微塵も感じられない。大会予算の関係で、使用できる控え室が限られているため、チーム全員の荷物をベンチに置くことになったが、それでも十分すぎるスペースがある。ベンチ裏には「素振り室」。3枚の大鏡とラバーシートで、同時に3人素振り出来る。充滿する塗料の香りが初々しい。グラウンドに出ると、青を基調にしたスタンドが早朝の青空とともに爽やかさを引き立てる。ファールグラウンドは広く、人工芝の毛足も内野は少し短くなっているという。その他スタジアムについてはHP (<http://www.hardoff-eco-stadium.jp/index.php>)も参照。

さて、試合の方とはいうと、シードの新津高校OBに対して2回表でいきなり0-6の敗勢。コールド負けも覚悟をしたが、ナンと終わってみればこれまた7-6のサヨナラ勝ち。この試合では、やはり6月の新人歓迎会で知り合った松元君がホームラン賞を獲るし、先の宗村君も後半4回無失点の好救援を見せるなど、現役に一番近い世代が中心になって逆転劇を演じる。

さあ、この勢いで、決勝も突破!!と勢い

込んだが、今度は新潟南高校OB相手に、5回表3-1から3点取られて逆転を許し、その後三度目の逆転劇はならず、準優勝に甘んじる。閉会式では、大会を通じた敢闘賞に宗村君が選ばれた。最後にOB会長も入っての記念撮影。電光掲示板の「優勝新潟南高校OB!」の文字がチト悔しい。

しかし、今回一緒にプレイした若手OBの特に打撃力から見て、現在の新潟高校野球部の実力は確実に上昇していると肌で感じた。2年連続夏の県予選ベスト8であり、甲子園までもう一步のところまで近づいている。と、ここまで書いたら、秋の県大会準優勝!との朗報が届いた。準々決・準決で、明訓、日本文理を連破し、決勝では中越に1点差負けでの準優勝。北信越大会の結果次第、或いは、21世紀枠での来春の甲子園も夢ではないところまで来ている。文理を尺度として考えても、新潟高校の実力は確実に全国レベルに近づいていると言えるだろう。

ところで、ECOスタジアムでの準決勝・決勝の開催を始めとするOB大会の開催の裏にはNPO新潟野球人 (<http://www.yakyujin.com/>)の皆さんのご苦勞がある。4年前新潟野球界を盛り上げようと結成された組織で、新潟高校と新潟商業の野球部のOBの方々が中心になっている。少年野球教室や各種野球関連のイベントの開催に尽力されている。この夏の甲子園での文理旋風は、このような地道な活動が無縁ではないような気がする。謝。

* * * *

- ◎1回戦：対柏崎高校OB
6回表で3-7の劣勢から最後は8-7の逆転サヨナラ勝ち
- ◎準決勝：対新津高校OB(前年優勝チーム)
2回表で6-0の劣勢から最後は7-6の逆転サヨナラ勝ち
- ◎決勝：対新潟南高校OB
5回表に3-1から逆転されて3-4の惜敗
宗村君は、大会を通しての敢闘賞
松元君は、準決勝でホームラン賞



平成21年度 総会のご案内

日時

平成 21 年 11 月 13 日 (金)
受付開始：午後 6 時
開会：午後 6 時 30 分

会費

一般：8,000円
女性：6,000円
大学生：3,000円

会場

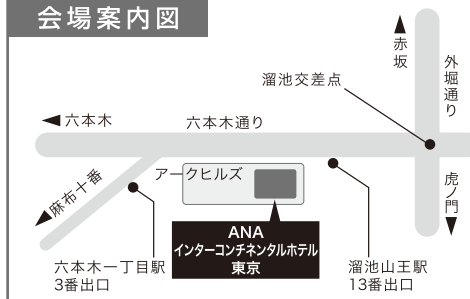
ANAインターコンチネンタルホテル東京
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

プログラム

- ◇総会議事◇
- 会務報告・会計報告など
- ◇懇親会◇
- 着席buffet

アルビレックス新潟
チアリーダーズ来演決定!

会場案内図



卒回別
出席数コンテスト有り!
お誘い合わせの上
ご参集下さい!!



予告 次年度の新人歓迎会は平成 22 年 6 月 18 日 (金) の予定です。

2009 新人歓迎会・講演会 PHOTO ALBUM

2009.6.19 fri.
ANA intercontinental - Tokyo



住所リスト出力サービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。
「同期会をやってみたくけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。
学年毎のリストを出力してお届けいたします。
ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛 FAX. をお送りください。

FAX. 03-3423-1692 (日下部・82回)

■住所リスト 1 学年 / 3000 円■

■ 訃報 ■ H21/5月~H21/9月の期間に事務局にお知らせいただいた方々です。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 関根達夫 (36回・H21年2月18日) | 坂井保也 (52回・H21年1月) |
| 五十嵐健治 (39回・日付不知) | 水澤悠紀郎 (55回・H20年12月15日) |
| 小川道夫 (40回・H20年4月) | 渋谷晃 (61回・H20年10月28日) |
| 小沢省三 (43回・H20年) | 星山勇三 (64回・H20年5月2日) |
| 関根巖重 (43回・日付不知) | 田代良雄 (65回・H21年5月3日) |
| 錦織登美夫 (44回・H20年1月22日) | 西垣功 (67回・H20年秋) |
| 大滝俊夫 (45回・H21年1月14日) | 高田恵子 (68回・H20年12月14日) |
| 川崎栄一 (45回・H21年1月) | 松尾一郎 (68回・H5月4日) |
| 小熊幸男 (46回・H21年3月4日) | 吉田治男 (68回・H20年5月29日) |
| 本間俊之 (49回・H21年1月20日) | 本嶋一誠 (70回・H21年5月4日) |
| 松原明 (50回・H15年6月10日) | 上村隆 (81回・H21年3月14日) |

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

偶数月第二火曜日の会

平成 21 年度 の 予 定
10/13・12/8 (兼忘年会)

平成 22 年度 の 予 定
2/9・4/13・6/8

毎 回 定 時 19 時 以 上

◇日本海庄や(赤坂店) 港区赤坂 3-13-7

Tel:03-3586-5003

場 所 も 時 間 も 固 定 で す。

ふ ら り と お 立 ち 寄 り ぐ だ さ い。

同窓会の HP

◇青山同窓会◇

http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/

◇東京青山同窓会◇

<http://www.tokyo-aoyama.org/>

一筆啓上

～H21年の新人歓迎会・講演会への欠欠はがきと、20年度後半の会費振込用紙に添えられた主なメッセージです。～

36回・関根達夫 平成21年2月18日死去いたしました。ありがとうございました。

40回・小川道夫 平成20年4月死亡致しました。今後のご連絡、お断りいたします。(遺族)

44回・斎藤伸雄 ご盛会を祈る。

44回・錦織登美夫 1月22日が一周忌になりました。存命中は大変お世話になりました。皆様のご活躍を心より御祈り申し上げます。有難うございました。(錦織内)

45回・大滝俊夫 平成21年1月14日亡くなりました。長い間お世話になりました。有難うございました。(妻)

45回・川崎栄一 残念ですが、夫栄一は今年1月に永眠いたしました。長い間お世話になりました。ご縁はなくなりましたが、想い出はいつまでも消えないことと存じます。(内三枝子)

46回・小熊幸男 夫小熊幸男、去る3月4日永眠いたしました。(内)

46回・富所強哉 出席します。いつもお世話になります。よろしく申し上げます。

49回・赤松元敏 大正13年生まれ。ようやく元気になりました。49回・本間俊之 今年1月に他界致しました。生前お世話になりました。ありがとうございました。(遺族)

50回・寺田秀夫 後期高齢者として細々と乍ら診療を続けています。御盛会を祈り上げます。

50回・時田勇司 欠席します。御盛会を祈ります。

50回・松原明 平成15年6月10日亡くなりました。今後の通信は不要です。(内)

52回・斎藤泰五郎 出席しますが、ご盛会をお祈りします。

52回・坂井保也 坂井保也は1月に死去いたしました。(内)

52回・渡辺達郎 人間行路難し 疾風に勁草を知る

55回・水澤悠紀郎 夫は昨年12月15日死亡いたしました。永年お世話になりました。(水澤明子)

56回・飯島昌彌 東京青山56回同期会、1月の新年会に続き5月23日(土)日本倶楽部に参集します。老春の歓談が楽しみです。

56回・松井昭五 既に80才に届く年になりましたが、昭和18年(1943年)に旧制新潟中学に入学した時が人生で一番嬉しかったものでした。以来67年経過しました。早いものです。

57回・横山信弘 本人病気の為今後の連絡等は不要で御座います。同窓会年会費は最後になります。残念ですが御了承ください。(家内)

58回・奥村陽彦 都合により出席できません。会の盛会を祈ります。

58回・佐藤富治 今回も体調が悪く欠席とさせていただきます。

58回・堀内俊夫 腰痛にて不自由となり、今回で退会させていただきます。

58回・宗村泰四郎 今回、新人の孫と一緒に出席する機会を得ました。宜敷くお祈り致します。

59回・岡田久 もうすぐ喜寿を迎えます。健康で過ごして得ることに感謝します。

59回・茂原喜彦 当日予定が入っており出席出来ません。悪しからず。ご盛会祈念申し上げます。

59回・長橋敏雄 毎日を元気に過ごしております。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

59回・花井達 おかげ様で元気に暮らしております。当日お会い出来るのを楽しみにしております。

60回・石黒忠士 元気ですが、残念ながら欠席します。ご盛会をお祈りいたします。

60回・高城英雄 1月に60回生MUZO新年会(東京地区)、40名集まりました。ゴルフ会、囲碁等定例で行っています。総会に欠席はわかりません。

61回・浅見昭夫 健康に過ごしております。

61回・渋谷昇 本人、兄は昨年10月28日(妻)逝去致しました。御報告が遅れました申し訳ございません。(妻一子)

61回・中村正春 協会の通称総会と重なり今回は調整が付かず欠席させていただきます。

61回・長沼雄雄 体力・気力・記憶力は低下しつつありますが、病気は見つかっていません。そのうち出席して雰囲気を楽しんでみたいと思います。よろしく。

61回・長谷部良雄 体調がいまひとつで、欠席させていただきます。ご盛会を祈ります。

61回・山田みずす いつも御案内頂きありがとうございます。当日は都合が悪く欠席させていただきます。御盛会をお祈りいたします。

61回・吉川芳生 相変わらず、体調が回復しませんが欠席させていただきます。会のご盛会を期待しております。

62回・帆刈功典 同窓会役員が円滑に世代交代され、脈々と活動が伝承されることは誠に喜ぶべきことと思います。益々の発展を祈念いたします。

63回・馬場政説 いつもご苦勞様でございます。

63回・太田健治 当日都合悪く失礼します。盛会をお祈りします。

64回・川崎明 幸か不幸か、今年、偶数月の第3金曜日は私の主催するフォーラムの開催日なのです。

64回・坂井俊一 事務局いつもご苦勞様です。

64回・坂井俊一 64回は今年も5月16日東京厚生年金会館で同期会を開催し51名もの参加で盛り上がりました。また会報でお知らせしたいと思います。

64回・坂本昌弘 ご盛会でありますように。

64回・佐藤章 他の予定と重なり、残念ながら欠席いたします。ご盛会をお祈り申し上げます。

64回・清水良男 いつもご案内いただき有難うございます。当日は、自治会(町内会)の会合があり(書記という役員をしており、)残念ながら欠席させていただきます。皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さい。

64回・津野慶浩 昼間は元気にゴルフなどやっておりますが、会合などでの飲食の後の体調が悪くなりますので、遠慮させていただきます。要は食べ過ぎ飲み過ぎの為なのですが。

64回・星山勇三 星山勇三20年5月27日70歳にて永眠いたしました。(星山ふみ)

65回・田代良雄 いつも同窓会のお知らせありがとうございます。主人は何年も前から体調悪くなく入退院を繰り返しておりました。5月3日に亡くなりましたが、最後まで新潟への思いはあったようです。会費などの事もご迷惑をおかけしていたのでしょうか、

最後の会費、振り込ませて頂きます。(内)

65回・佐藤武行 元気で居ります。盛会を祈ります。

65回・横山修二 いつもご案内いただきありがとうございます。今回も欠席とさせていただきます。東京会報巻末の年会費納入者一覧で拝見する65回生の数が年々少なくなっているように感じますが、生る限り母校に思いを寄せようではありませんか!

66回・風間謙一 毎日、畑の土をいじっています。おかげ様で元気で。

67回・西垣功 昨秋に病気のため死亡しました。(妻)

67回・松井啓 どうしてもはずせない別件が出来ましたので、まことに恐縮ながら「欠席」となります。悪しからず。御盛会をお祈りします。

67回・三堀浩 東京青山同窓会報45号中、柔道部OB会活動報告の記事に「旧制中学時代に全国大会制覇3回」とあり、父謙二(30回卒)も柔道部だったことを思い出しました。盛会を祈ります。

68回・高田恵子(旧姓矢部) 去る12月14日亡くなりました。(代高田進)

68回・松尾一郎 お世話になりましたが、5月4日に病死いたしました。(妻)

69回・高木敏之 今年度から週5日勤務の「現役なみ」に戻りました。若返って元気でやっております。

69回・松尾健司 なかなか出席の機会がありませんが、貴会の益々の発展を祈ります。

70回・安達隆史 4月に甲府から茨城県守谷市の自宅に戻りました。

70回・猪口孝 不況にめげず、「米百俵」の新潟県立大学を引っ張ります。

70回・福井敏一 3年前から病を患ってしまい(多発性骨髄腫)、現在成田病院での入院、通院を繰り返しております。8月に退院可能ですので、その後参加ができれば幸いです。8月に退院しました。8月に退院しました。8月に退院しました。

70回・福島治 フィレンツェの Franco Cesati から An Etymological Dictionary For Reading Dante's De Vulgari Eloquutio が出版されました。

70回・北嶋一誠 今年5月4日逝去いたしました。生前いろいろとありがとうございました。平成18年に留学の北京外国語大学で脳梗塞に倒れ、脳中風で65歳で永眠いたしました。(内)

71回・五十嵐勲 返信が遅れてしまいました。5/10新潟市白根マラソン、ハーフマラソンを先走しました。1時間41分42秒、60歳代で5位でした。その他社交ダンスを楽しんでいます。

71回・太田裕 筋トレ7割、脳トレ3割の生活が続いております。日々ベンチプレスは80kg、年末までに90kgを目指して。

71回・柄沢亨 コーラスなどで施設を訪問しました。

71回・齋藤誠 中歐に旅行しましたが、1年先輩の方と偶然にも一緒に知り、世界の狭さを実感することとなりました。

71回・高橋剛子 住所変更をお願いいたします。

71回・松田裕子 幹事様いつもお世話になります。

72回・小嶋修一 地球環境ビジネスに取り組んでおります。

72回・松永宏五 会社を退職し新潟に転居しました。東京の会は脱会させていただきます。

72回・渡辺毅之 新潟に戻って16年。緑と海、川に隣接したふるさとでの生活を満喫しています。

72回・富田由李 出欠返信、遅くなりすみません。受付のお手伝に参りましたので、よろしく申し上げます。

73回・田中正弘 今年8月1日～10日新潟給屋にて開催開催。

74回・糟谷好邦 定年まであと3年、後任の育成など忙しい会社員人生を送っています。ボイススクワット活動をトーンダウンさせアマチュア無線や家族との旅行などに時間をシフトしています。

74回・工藤義夫 74回の東京集いの(幹部志会)を3年ぶりに、2009.5.16銀座で開催しました。31人出席し無事を確認いたしました。今後は1年1回くを予定しています。

74回・山崎久孝 昨年11月14日の総会以降、2月10日の赤坂、5月16日の幹部志会(74回同期会)と順調に参加させていただくことが出来ました。今後は6月19日以降は残念ながらしばらくお休みとなるかもしれませんが、7月にはまた日本を離れる予定です。11月13日に帰国できるといのですが...

75回・有蘭順子 新潟を舞台にした映画「降りてゆく生き方」を見ました。篠田市長を始めとして同期が5人もエキストラで登場しているの聞いていましたが確認できたのは3人まで。「昔の面影、今、いずこ〜!!」

75回・三富修 昨秋定年退職し、悠々といかない自適の日々を過ごしております。

76回・田中邦直 いつもご苦勞様です。6月19日の新人歓迎会ですが、他の会合と重なってしまいました。大変申し訳ありませんが欠席いたします。

76回・古川原哲夫 返信が遅くなり申し訳ございません。宜しくお願いいたします。

77回・石川彰 いつも楽しみにしていますが、今年には別の案件と競合して扱われられません。誠に残念ですが、今回は欠席とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

79回・杉山順平 19日は県の政策セミナーが夜あり、残念ですが出席できません。

80回・長正子 いつもお世話になっております。歓迎会、出席します。またチラシを配布させていただきますと思います。

81回・上村隆夫 夫上村隆夫は平成21年3月14日永眠いたしました。(内)

82回・鈴木雄一 2009年4月から転勤により広島に参りました。

82回・西山活子 また今回も出席できず申し訳ありません。会報を読むたびに出席できていたかと思っています。元気で働いています。白髪もチラツキ、年令を痛感する今日このごろです。

84回・丸山祐一郎 勤務先が変更になりました。順天堂大学浦安病院整形外科。

84回・諸井幹 昨年11月5日に練馬区にて「もういクリニック」を開院いたしました。

85回・雨木若慶 今回も仕事のため出席できません。ご盛会をお祈りいたします。

87回・清水忠明 授業のため出席できません。昨年12月より新潟大学工学部教授となりました。教育・研究・学内行政、社会貢献と、多忙な日々を送っています。盛会をお祈りします。

88回・今井信一郎 新人歓迎会のご案内をいただきましたが、

所用で欠席させていただきます。今年も希望に胸を膨らませて沢山の後輩が上京したことを思います。それぞれ目標を定めて、充実した学生生活を過ごしてください。

90回・木村和人 6/19の新人歓迎会に出席いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

92回・東理守 新人歓迎会・講演会に、鈴木亨(80回・新潟市東京事務所長)とともに出席させていただきます。

98回・鈴木広樹 6/19の新人歓迎会、この4月から夜間の大学院に通っているため、残念ながら参加できません。次回の総会には参加できればと思っています。「マネージン」というウェブマガジンに初心者向けの財務諸表の見方を連載しています。http://moneyzine.jp/article/corner/59

98回・三澤計治 平成21年度新人歓迎会に今年も参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

102回・池田哲郎 ビジネス実務法務検定1級合格致しました。

102回・吉田巧 遠方のため欠席します。申し訳ありません。職場が異動となりました。変更をお願いします。

105回・角野純子 来月出産予定のため、欠席いたします。

105回・柳道こずえ 新人歓迎会ですが、仕事のために申し訳ありませんが、欠席をお願いします。なんとか二次会だけでもと思っておりましたが、泊まりでした。残念です。大変なこともあります。日々楽しくフライトしております。これも青山同窓会の先輩のおかげだと感謝しながら、幸せに感じております。皆様によくお伝えください。

107回・伊豆田友子 住所に変更がありますのでご報告いたします。新人歓迎会・講演会については欠席でお願いいたします。

107回・野崎達生 昨年大学院博士課程を修了し、今年4月よりJAMSTECの研究員として働いております。今年も宜しくお願いいたします。

108回・吉田まわり(旧姓安藤) 5年前に結婚し、姓が安藤から吉田に変更されました。4年前に男子の子を出産し、子育てしながら大学院に3年通い、昨年4月に社会人になりました。

112回・松本香織(旧制岡崎) 私事ではありますが、結婚して松本香織となりました。名前、住所の変更をお願いいたします。

113回・岡嘉紀 昨年大学院に進学し、今年は2年生です。司法試験受験のため、日々学修に励んでおります。

113回・柘木康行 遅くなりましたが、新人歓迎会に出席させていただきますのでよろしく申し上げます。同じ専攻に2人の同窓生がいるのに驚きつつ、実験に励んでおります。

113回・真壁枝里 4月より就職が決まり新潟へ帰って参りました。東京青山同窓会のご盛会をお祈りしております。

113回・丸山直哉 お世話になっております。この度初めて会報が届き、楽しく拝見させていただきました。今回は会社の新入社員研修のため、残念ながら欠席させていただきます。これからも宜しくお願いいたします。

114回・有本万里 新人歓迎会にぜひ出席したいと考えております。このメールをもって欠欠のお葉書に換えさせていただきます。

114回・虎井英梨子 新人歓迎会に出席させていただきます。ご連絡いたしました。

115回・郷慎久朗 郷慎久朗(115回生) 早稲田大学3年生、浜田利雄(116回生) 武蔵大学1年生の2名で出席させていただきます。ご連絡が遅くなってしまいましたが誠に申し訳ありません。

115回・鈴木裕哉 このたび新潟に転居いたしました。

115回・高橋彩美 この春転居して住所に変更があったので連絡させていただきます。次回からは会報などの郵送は新住所の方へよろしく申し上げます。

116回・安立沙耶佳 今年度も宜しくお願いいたします。

116回・土井善貴 新人歓迎会に出席させていただきます。よろしくお願いいたします。

116回・見原果林 ご案内いただきありがとうございます。翌日に大会がありますので残念ですが欠席させていただきます。

116回・山路善貴 6月19日の同窓会に参加いたします。宜しくお願い致します。

116回・渡邊卓弥 6月19日の東京青山同窓会に参加希望します。宜しくお願い致します。

117回・池田恵美 新人歓迎会・講演会に出席します。よろしくお願いいたします。

117回・石山裕也 この度は平成21年新人歓迎会・講演会にお招きいただきありがとうございます。ぜひとも参加させていただきます。授業がございまして、2~30分程遅れそうですが宜しくお願いいたします。

117回・江口博子 出席します。宜しくお願いいたします。

117回・榎本飛鳥 授業が遅れるかと思いますが出席させていただきます。

117回・小川さき 授業があるため残念ですが欠席させていただきます。

117回・小川苑子 新人歓迎会・講演会に出席します。よろしくお願いいたします。

117回・坂上真帆子 連絡が遅くなり申し訳ございませんが参加させていただきます。

117回・桜井泰 新人歓迎会、出席させていただきます。初めてですが、よろしく申し上げます。

117回・高尾早彩 参加させていただきます。

117回・武石理沙 参加いたします。

117回・田村美緒 お返事送ってまいります。同窓会参加します。よろしく申し上げます。

117回・畑山雅俊 新人歓迎会に参加させていただこうと思いましたが、ご連絡が遅くなりました。宜しくお願いいたします。

117回・福原周 6月19日の新人歓迎会なのですが、大学の講義のため6時30分の開会に間に合いません。申し訳ありません。

117回・藤井新介 出席します。宜しくお願いいたします。

117回・本多俊彰 新人歓迎会・講演会に参加致します。よろしくお伝え致します。

117回・小松元敏 葉書の投函期限が過ぎてまいりましたが、出席させていただきます。

117回・宮崎真樹 欠回はぜひ出席させていただきます。引越しましたので、住所変更よろしく申し上げます。

117回・宗村孝幸 出席します。宜しくお願い致します。

117回・日黒貴子 新人歓迎会には、出席という事でよろしく申し上げます。なお、住所の変更はございません。

平成20年度 (H20.10.1~H21.9.30) 年会費納入者一覧

40回 (1名) 高田信川	北村晴四郎 木村直平	洪木幸三 高橋晴夫	田中宣 田中忠夫	近藤恭一 坂井俊一	前田康久 松井啓	高橋則子 高橋紘生	鈴木正夫 曾我正男	滝沢清一郎 西口幸男	南正人 渡辺政城
41回 (1名) 伊藤一雄	久慈正彦 久保田剛敏	高橋正利 高山昇二郎	田村文明 鶴巻正義	坂井敬 坂本昌弘	三堀浩 皆川学	中村英一 福井明子	白鳥十三 田辺省一	星名健二 丸山直昌	88回 (2名) 今井信一郎
42回 (1名) 東城真佐男	幸田慶治 小嶋秩夫	長島一郎 長橋敏雄	時岡泰 徳田晋也	須田謙治 椎名睦郎	山田尚男 吉田一郎	堀清忠 松田裕子	玉木廣 千田武	長正子 吉田英幸	90回 (13名) 雨夜喜美子
43回 (2名) 徳重茂 早船春洋	小松重男 近藤源也	納谷喜郎 花井進	長沼雄峰 中村正春	清水裕子 清水良男	安達賢司 安達雅巳	荒川幸夫 石田庄	野崎茂 橋爪博美	吉田達志 吉田英幸	89回 (2名) 岩野尚子
44回 (1名) 斎藤伸雄	斉川和平 坂井洲二	牧泰彦 水沢邦弘	長谷川耕一 長谷部良雄	高橋正幸 田才邦彦	阿部美和子 江上雅子	宇田川由美 大野博	萬歳信行 深沢義和	長十嵐和幸 尾山尚	91回 (2名) 岡田留美子
45回 (1名) 川崎栄一	佐藤幸喜 佐藤謙一	皆川潔 山田和雄	花房正光 藤田太郎	田辺元彦 田伏正樹	上村嶺子 草野佐	神林賢治 黒木トシ子	藤縄利勝 本田晴久	高橋直人 高橋麗子	92回 (1名) 牧野武彦
46回 (2名) 下勇 富所強哉	清野誠二 高見久義	山田陽一 山吉一成	丸山通夫 村岡公夫	田卷亮 田村康一	後藤林八 近藤和久	小嶋修一 小林正昭	三富修 八木健	丹羽宏樹 荒川洋	95回 (1名) 橋田篤英
48回 (2名) 石本三郎 本間公也	照木仁 永井喜八郎	若木滋 渡辺敏男	村山健 谷田部信	津野慶浩 中川透	近藤貞雄 佐倉卓爾	小林正昭 菅又滋	山崎信行 山根英郎	渡部一俊 笹川典男	99回 (3名) 加藤沙織
49回 (8名) 赤松元敏 梶山勝清	中川邦司 中島直彦	渡辺満 阿部和彦	吉川芳生 阿部邦夫	中山区彦 西野貢司	重野康人 滝沢猛	高橋忠 太刀川圭一	服部昭 萬歳信行	渡部一俊 戸田満弘	111回 (1名) 富永高朗
50回 (8名) 工藤弘安 中村廣徳	中村晃 中山昭一	藤原幸雄 五十嵐康男	石黒恒 石田寛	藤沢靖郎 藤田昇三	増子藤男 村山弘	渡邊公夫 渡辺千鶴	阿部令一 天野直二	横山俊二 岩原俊也	113回 (5名) 岡嘉紀
51回 (7名) 梶井功 北村茂	庭山六郎 藤田和夫	池浦厚司 石黒忠士	石黒恒 石田寛	藤田昇三 星満	村山弘 渡邊公夫	渡辺千鶴 渡部治子	海老豊 小笠原徹	金子裕一 清田甚	114回 (2名) 工藤健介
52回 (10名) 浅田稔 阿部穆	山城教成 山田幸輝	植松敏 内山真一	石田寛 石黒忠士	堀松敏 内山隆之	星満 堀健次	渡邊公夫 渡辺千鶴	海老豊 小笠原徹	金子裕一 清田甚	115回 (2名) 安立沙耶佳
53回 (4名) 近藤圭二 堀時男	山田陸男 山村一	佐藤孝 清水悌作	高橋健一 田中毅	高橋健一 田中毅	眞壁日史郎 榎湯晴夫	渡部治子 吉川要輔	尾張明史 加澤和史	目下部朋子 小亦斉	117回 (7名) 大滝進吾
54回 (4名) 千葉繁治 中村正義	山田陸男 山村一	佐藤孝 清水悌作	高橋健一 田中毅	高橋健一 田中毅	眞壁日史郎 榎湯晴夫	渡部治子 吉川要輔	尾張明史 加澤和史	目下部朋子 小亦斉	118回 (1名) 長井あすか
55回 (4名) 飯島昌彌 市川千尋	山田陸男 山村一	佐藤孝 清水悌作	高橋健一 田中毅	高橋健一 田中毅	眞壁日史郎 榎湯晴夫	渡部治子 吉川要輔	尾張明史 加澤和史	目下部朋子 小亦斉	119回 (1名) 加藤靖之
56回 (50名) 赤坂長弥 朝比奈和三	山田陸男 山村一	佐藤孝 清水悌作	高橋健一 田中毅	高橋健一 田中毅	眞壁日史郎 榎湯晴夫	渡部治子 吉川要輔	尾張明史 加澤和史	目下部朋子 小亦斉	120回 (1名) 加藤靖之